

ルルドの丘

2023

1月

No.52



とびっくす ☆

2022年12月8日(木) クリスマスの集い

今年も各棟でプロジェクターに「開会式・聖劇・ダンス・ボランティアによる演奏・閉会式」の様子を映し出して、みんなで観覧しました。

聖劇では「いちばん しあわせな おくりもの」を各棟の保育士・介護福祉士・看護師が役になりきって、臨場感あふれる本の読みきかせでした。

ダンスは、クリスマスソングの「ジングルベル」を選曲し、音楽に合わせてタッピングやマッサージを行い、利用者さんとふれあうプログラムでした。

ボランティアの演奏は、「臼杵ハーモニカクラブ」の皆さんが、当日お御堂で演奏してくれました。懐かしい曲や童謡、クリスマスソングの演奏に、利用者さんも支援者も口ずさみながら演奏を聞いていました。

コロナ禍で、ボランティアの参加や交流が難しい状況でしたが、久しぶりのボランティアの皆さんによる演奏を、みんな喜んで楽しいクリスマスの集いとなりました。



社会福祉法人 聖母の騎士会
恵の聖母の家

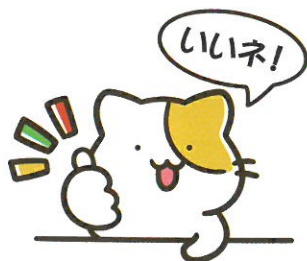


あゆみの広場 できごと

一言いいね

あゆみの広場では、毎朝の朝礼で、職員が持ち回りで『一言いいね』を発表しています。

日常の中から『いいね』のネタを探し、発表します。利用者との関わりで嬉しかったことや気づいたこと、ちょっとしたやりとりの一コマ、家で起こった珍事件や日々の出来事など、内容は様々です。十人十色の話題ですが、最後には決まって微笑ましい空気が流れ、笑顔とともに一日をスタートできているように思います。



園内ドライブにて

外出活動が限られる昨今、ドライブや遠出の機会もなかなか得られないのが実情です。制約の多い環境下でも、できることから始めていこうと、今年度は園内ドライブを企画し実施しました。

期間は春先から始めて、寒くなる手前の11月までの8カ月です。しかし残念ながら、コロナの影響により、中止せざるを得ないこともありました。初めての試みでしたが、実際に活動することにより、今後の課題や可能性が見えてきました。与えられた環境の中で、さらに活動を充実させていけたらと思います。

もうすぐクリスマス

恵の聖母の家の聖なる日、イエス様の誕生をお祝いするクリスマスが間もなくやってきます。

あゆみの広場にもクリスマスの装飾が施され、賑わいを増しています。金色のリボン、色とりどりの電飾、大きなツリー、きらめくモール、緑鮮やかなヒイラギ。美しい装飾を見ていると、不思議と童心に帰ります。病棟の中でも、「何歳までサンタクロースを信じてた?」「お宅の子どもさん、まだサンタを信じてる?」なんていう会話があちらこちらから聞こえてきて、ほっこりする今日の頃です。



素敵な異空間

2022年9月、家族の日をおこないました。

今年のテーマは水族館。光と映像を駆使して、担当者たちは限られた空間の中



で水族館を演出してくれました。あゆみの広場は、トップバッターでその雰囲気堪能しました。ライティングも普段とは違い、まるで深海に潜り込んだような空間に入ると、ちょっと驚いたような表情になる人、水中でゆれる魚を見つめる人、少し眠そうに目を細める人など様々でした。その様子を見てみると、日常から



離れて、こうした素敵な異空間に身を置く時間は、利用者の方々にとって貴重な体験になるように感じられました。

祝・還暦

11月6日、久保 顕さんがめでたく還暦を迎えました。

当日は体調がすぐれなかったのですが、後日着物と袴で正装し、みんなでお祝いしました。お祝いの言葉をかけられる久保さんの瞳は、話し手を見つめ、きらきらと輝いていました。また、祝福を受けてにっこり、微笑む場面もありました。

若い頃にカラオケで歌っていた『北国の春』をかけてみんなで歌いながら、「おめでとう」と祝福の言葉を浴びていました。

そんな周囲の人たちの祝う気持ちが伝わったのか、お祝いを終えた後、久保さんの頬には一筋の涙がこぼれていました。

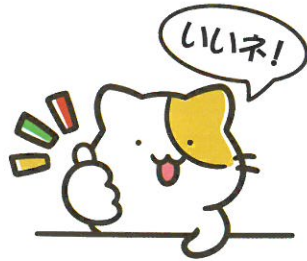


あゆみの広場 できごと

一言いいね

あゆみの広場では、毎朝の朝礼で、職員が持ち回りで『一言いいね』を発表しています。

日常の中から『いいね』のネタを探し、発表します。利用者との関わりで嬉しかったことや気づいたこと、ちょっとしたやりとりの一コマ、家で起こった珍事件や日々の出来事など、内容は様々です。十人十色の話題ですが、最後には決まって微笑ましい空気が流れ、笑顔とともに一日をスタートできているように思います。



園内ドライブにて

外出活動が限られる昨今、ドライブや遠出の機会もなかなか得られないのが実情です。制約の多い環境下でも、できることから始めていこうと、今年度は園内ドライブを企画し実施しました。

期間は春先から始めて、寒くなる手前の11月までの8カ月です。しかし残念ながら、コロナの影響により、中止せざるを得ないこともありました。初めての試みでしたが、実際に活動することにより、今後の課題や可能性が見えてきました。与えられた環境の中で、さらに活動を充実させていけたらと思います。

もうすぐクリスマス

恵の聖母の家の聖なる日、イエス様の誕生をお祝いするクリスマスが間もなくやってきます。

あゆみの広場にもクリスマスの装飾が施され、賑わいを増しています。金色のリボン、色とりどりの電飾、大きなツリー、きらめくモール、緑鮮やかなヒイラギ。美しい装飾を見ていると、不思議と童心に帰ります。病棟の中でも、「何歳までサンタクロースを信じてた?」「お宅の子どもさん、まだサンタを信じてる?」なんていう会話があちらこちらから聞こえてきて、ほっこりする今日の頃です。



素敵な異空間

2022年9月、家族の日をおこないました。

今年のテーマは水族館。光と映像を駆使して、担当者たちは限られた空間の中



で水族館を演出してくれました。あゆみの広場は、トップバッターでその雰囲気堪能しました。ライティングも普段とは違い、まるで深海に潜り込んだような空間に入ると、ちょっと驚いたような表情になる人、水中でゆれる魚を見つめる人、少し眠そうに目を細める人など様々でした。その様子を見てみると、日常から



離れて、こうした素敵な異空間に身を置く時間は、利用者の方にとって貴重な体験になるように感じられました。

祝・還暦

11月6日、久保 顕さんがめでたく還暦を迎えました。

当日は体調がすぐれなかったのですが、後日着物と袴で正装し、みんなでお祝いしました。お祝いの言葉をかけられる久保さんの瞳は、話し手を見つめ、きらきらと輝いていました。また、祝福を受けてにっこり、微笑む場面もありました。



若い頃にカラオケで歌っていた『北国の春』をかけてみんなで歌いながら、「おめでとう」と祝福の言葉を浴びていました。

そんな周囲の人たちの祝う気持ちが伝わったのか、お祝いを終えた後、久保さんの頬には一筋の涙がこぼれていました。

のぞみの丘 できごと

スイーツバイキング

10月5日のぞみの丘でスイーツバイキングを行いました。居室は、秋の装飾で華やかに飾り付けをしました。ケーキを食べる方は、2種類のケーキと2種類のジュースの中から好きな方を選んで頂き、バイキングの楽しさを味わいました。



注入者の方には、飴玉で作れる綿あめ機を使って、綿あめを作り食べました。綿あめを作っている時に、甘い香りが部屋の中に広がると食べるのを待ち遠しくされる利用者の方もいて、スイーツバイキングを楽しんでいました。



緑を増やそう活動について

今年のはぞみ棟に、緑を増やそうと活動を始めました。

①千成ひょうたん。誰でも簡単にかわいらしいミニひょうたんができると聞きつけ、高さ3mほどのネットを設置して植えてみました。環境が合わなかったのか？手入れが不十分だったのか？実がなるどころか途中で枯れてしまいました。



②ヒマワリ。ある利用者さんから「ヒマワリを植えたい」と希望があり、種を買ってきました。

植えて一週間ほどで、たくさんの芽が出てヒマワリが咲きました。



③アロマディカス。ある職員さんから苗をいただき育てています。うまくいけばポプリなどにしたいと思っています。



④シクラメン。先日、野津町内にある「ヤナイ園芸」を訪れた際、ご厚意で頂いた二鉢の苗。

なるべく長く花が咲くように奮闘中です。

これからも苗の成長を楽しみながら活動を行っていきます。



グループ活動紹介

のぞみの丘では、毎月1回、7号室に集まって、3名の女性利用者を対象にした「わらべ歌」グループを行っています。毎回、始めのパートナー紹介で支援者3名と一対一で挨拶をしてから始めます。次いで、♪あんたがたどこさの曲で肩や腕を、♪はないちもんめの曲で足のタッピングをすると皆さん、リラックスしてよい表情になります。♪ずいずいずっころばしの曲では、私達が子供の頃に遊んだように、リーダーが順番にゆっくり回っていくと、指で作った穴にリーダーの指が入る様子をよく見えています。

♪かごめかごめの曲では大小のオーガンジーを使って、色、揺れ、風合いの変化を体感しています。顔に触れるたびに目を閉じたり、目で追ったり、手でつかもうとしたり、心地よくなってうとうとしたりと様々です。季節の歌を使った合奏では、鈴やタンバリンを個々の方法で奏して楽しんでいます。

一対一で関わることで、ゆったりとした時間を楽しむことができます。



ネイチャークラブ「芋ほり・焼き芋パーティー」

6月に植えたさつまいもを10月20日に収穫しました。一人で力強く引いて一度にたくさん掘れたり、支援者と一緒に紐を持って、大きな芋がとれると歓声があがり、利用者さんも支援者も一緒になり喜んでいました。



掘れた芋を持ち上げ、笑顔で写真を撮りました。



11月30日、焼き芋をひかり棟園庭で行いました。朝から支援者が外で準備をしていたので、朝食を食べ終えた利用者さんは窓側を向いてソワソワしながら様子を見ていました。



利用者さんは数名ずつ焚火の様子や焼けた芋を手を持ち、美味しそうに口に運んでいました。

午後から、焼き芋パーティーを行い、スイートポテトと芋餅をみんなで食べました。

芋の香りやバターの香りがして秋の味覚を楽しみました。

みんな「美味しい」と笑顔が見られました。

クリスマスイルミネーション点灯式

12月1日夕方、薄暗くなったひかり棟の園庭で、イルミネーション点灯式が行われました。

まずはあゆみ棟の壁面に映し出された楽しそうな利用者さんの笑顔の写真。そして音楽とともに湧きあがる花火と歓声。

カウントダウンの後に浮かび上がったのは、2つのサンタクロースとキラキラ光るイルミネーションでした。

最後には、あわてんぼうのサンタクロースとトナカイが現れみんなを楽しませてくれました。

初めての点灯式で少しドタバタしましたが、何十年ぶりにみた花火やキラキラ光るイルミネーションに癒されたひと時でした。



ひかりの大地 できごと

夏の集い2022

8月、夏の集いを開催しました。利用者さん、支援者は浴衣や甚平を着て、かき氷・水鉄砲・ヨーヨー釣り・金魚すくいの催し物を楽しみました。



今回のかき氷は、3種類(イチゴ・メロン・ブルーハワイ)のシロップに練乳やこしあん、アイスクリーム(バニラ・イチゴ・チョコ)などいろんな物を準備しました。利用者さんはトッピングを自由に選び、美味しそうに食べていました。

外では利用者さんに水鉄砲で的当てをしてもらいました。空き缶で作った的が倒れて喜ぶ利用者さんや支援者同士の水の掛け合いで、濡れた支援者を見て喜ぶ利用者さんもいて、笑いの絶えない時間でした。



当日は天気にも恵まれ、夏の食べ物や夏の遊びをみんなで楽しむことができました。

センターめぐみ できごと

仮装カラオケ大会

施設行事の家族の日に変わり、センターでは仮装カラオケ大会を行いました。仮装カラオケ大会では3グループに分かれドレスを着たり、女装や学ランを着て歌を歌いました。

みなさん元気よくステージを歩いたり、笑顔で大きな声で歌って楽しい雰囲気の中、過ごすことができました。

途中から金髪のラプンツェル姫も応援に駆けつけて、音楽に合わせて踊ってくれました。

みなさん誰だかわかりますか？



仮装ハロウィンパーティー

10月はハロウィンパーティーを行いました。

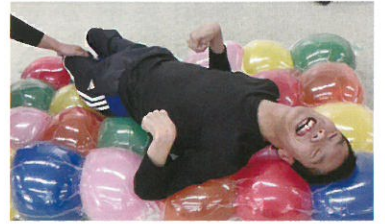
みんなで魔女や悪魔の恰好に扮してみました。

怖いというより素敵な魔女や悪魔になってしまいました。トリックオアトリート!! お菓子をくれないと、いたずらするぞ~♪



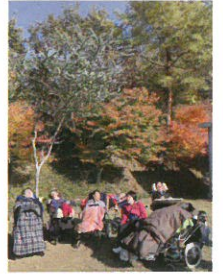
感覚遊び・戸外活動

活動では感覚遊びの風船ベッドやトランポリンをしました。普段とは違う感覚を味わい、思わずこの笑顔。



戸外活動では花壇の花植えやルルドの丘へ紅葉を見に行きました。

みなさん嬉しそうに笑顔で過ごしています。



制作活動

制作活動では指スタンプで銀杏の木を作ったり、松ぼっくりと紙粘土を使ってハリネズミやイノシシの置物などを作りました。紙粘土を一緒にちぎったり丸めて、可愛いハリネズミやイノシシを制作しました。

これからも素敵な作品を作りましょうね♡



流木ツリー

クリスマス制作として煮沸消毒した流木で素敵な流木ツリーを作りました。空のオーナメントボールに小物やドライフラワーを入れオリジナルの装飾を作って飾り、皆さん思い思いのツリーを作りました。



素敵な流木ツリー、お家で飾ってくださいね。メリークリスマス🎄

地域・家族とのつながり

相談支援事業所こころ所長

主任相談支援専門員

井上 勝己

二〇二二年四月より
病棟職員の異動により、
社会福祉士の相談員が加わりました。

病棟に配置されて
いましたが、地域・在宅
支援への活動に対する
興味があることから、
相談支援専門員として
二〇二二年より活躍して
います。

毎週金曜日は別府大学で講師をし、
家庭と本業と講師の三足の草鞋で頑
張っています。さらに、二〇二二年四
月より病棟で保育士をされていたベテ
ランの職員が配置となり、「恵の聖母の
家・入所者」の計画相談を担当して
います。

相談支援事業所こころは二名（男性・
一名、女性・二名）で、和気あいあい
と意見を交わし、協調性のあるメンバ
ーで業務をこなしています。

さて、事業所では主任相談支援専門
員が配置されていることもあり、事例
検討などOJT（施設内職業教育）の
充実を図っています。

相談員二名で各々が課題を見つけ、
情報を共有し事業所カンファレンスを行
っています。スーパージョンを取り
入れることで、ケアマネジメント手



法や他職種連携の必要性を再認識して
いるところです。

このスーパージョンとは、経験あ
る相談員がスーパージョーとなり、
バイザーに対して教育的・指導的・運
営的な側面の自己向上ができるよう取
り組んでいます。

「恵の聖母の家・発達外来」も今年度
より再開し、医療によるサポートを重層
的に展開できることとなりました。就学
前や就学後の児に対するアプローチとし
て障害児支援の計画や地域療育等支援
事業（巡回療育・外来保育・施設支援等）
の展開により、保護者に寄り添った支援
を心掛けています。

医療による発達外来では、当然、て
んかん発作や肢体不自由・医療的ケア
が必要・服薬が必要な児者と様々なケ
ー スの方も継続的な訓練や治療が続いて
います。

「障がいのある人もない人も心豊かに暮
らせる大分県づくり条例」が平成二十七
年度制定されて以降、我々は活動を続け
ています。多種多様な生活様式や貧困に
よる家庭生活の困難に対し、どのように
支援をしていくのかを地域自立支援協議
会などを通じて開拓・
創設していきたいと考
えています。

お気軽にご相談・
お問合せ下さい。

次回より、

こころのつばやきがスタート!!

するかも…。ぜひご期待。



買

い

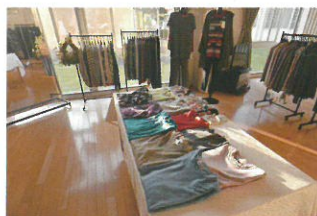
物

今回、コロナ禍によ
り服を買いに行く機
会がなくなつたため、
十一月一日「なりきよ
呉服店」様に依頼し、
施設内で服の買い物を
行いました。

施設の福祉部職員が服屋
さんの雰囲気が出るよう
にかごやかみ袋なども用意
してディスプレイしました。

最初はのぞみの丘の利
用者さん三名で行う予定
でしたが、服の品数もデ
ザインも豊富な商品が揃
い、皆さん楽しそうに買
物をしていたので、他の
利用者さんから「私も行
きたい」との声が聞かれ、
ひかりの大地の利用者さ
んを含め、九名参加する
ことができました。

服を見たり触ったり、楽
しそうに服を選んでいる様子が見られま
した。今回、地域にある衣料店「なりきよ呉服
店」様にご協力頂き、入所利用者さんがと
ても楽しく買い物を行うことができました。
これからも利用者さんが楽しめる取り組み
ができるように頑張りたいと思います。
後日、この取り組みが臼杵ケーブルで放送
されました。



人事異動

▼退職

二〇二二年八月三十一日付
看護師 衛藤 加代子

十月三十一日付

看護師 中津 豊子

十二月三十一日付

参与 松浦 紳一郎
事務 絹川 咲恵
看護師 工藤 みゆき

▼新規採用

二〇二二年七月一日付

看護師 安藤 香織
看護師 山下 大地

八月一日付

看護師 竹林 のぞみ
事務 姫嶋 亮太

十月一日付

生活支援員 宇薄 慧

▼役職就任

二〇二二年十一月一日付

あゆみ棟

看護主任 玉井 ちづる

これからも

よろしくお願ひします。

ご寄付お礼

二〇二二年

四月 匿名さま
六月 匿名さま
八月 匿名さま
九月 めぐみ会さま
十一月 修道会さま
十二月 めぐみ会さま



臼杵市社会福祉協議会さま
ポインセチアのプレゼント

皆さまのお心遣い

ありがとうございます

ございました。



めぐみ



秋の文化祭

みんなで盛り上がる楽しい文化祭

ひかりの大地では、制作グループ、とんとんクラブ、アートクラブなどのグループや個別活動の中で、絵画や工作などに取り組んでいます。

また、機能訓練や、余暇の楽しみとして絵を描くなど、身近に「制作すること」が取り入れられています。

そこで十一月に、日頃から制作活動に参加している方たちの作品を披露する目的で「ひかりの大地 秋の文化祭」を開催しました。多くの利用者さんが、支援者と色や構図を考えていろいろな手法で制作した、個性豊かな作品がたくさん集まりました。

自身が描いた絵が廊下に展示されると満足気にされている方や他の方の作品を興味深げに見ている方もいました。他には、写真を見て連想し川柳を作るコーナーもあり、利用者さんと支援者が考えたおもしろ川柳がたくさんできていました。

感染対策で何かと制限の多い日々の中での楽しい文化祭となりました。



行事予定

* 予定変更の場合があります。

日付 (曜日)	行事予定	活動内容
1月12日 (木)	全体研修	「リスク・感染防止について」
2月7日 (火)	全体研修	「褥瘡(じょくそう)について」
3月1日 (水) 31日 (金)	全体朝礼	「永年勤続表彰」 「定年退職者表彰式」
4月9日 (日)	復活祭	
5月14日 (日)	ルルド祭	
6月21日 (水) 29日 (木)	ふれあい運動会 全体研修	「防犯について」

各ご連絡 ご相談先	恵の聖母の家 (代表) ……0974-32-7770 発達外来 (初診受付) ……0974-32-7778 相談支援事業所 ……0974-32-7788	児童発達支援センターめぐみ…0974-32-7784 保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイ・生活介護
	外来保育きっず ……0974-32-7778	地域連携室 ……0974-32-7667

みことば

助けを必要としている人たちが、すぐ身近にいることは珍しくありません。
その取り組みを成し遂げるためにと、どこかへ行く必要はないのです。
いちばん小さなことから始めるべきです。
教皇フランシスコ



編集後記

2022年7月に発行したルルドの丘51号、リニューアルした内容をご覧になった方から、好評な感想も多くなりました。

コロナ禍で「面会も叶わず、寂しい不自由な思いをしていないか気がかりだったが、園内報や運動会の様子を知らせてもらい、元気に楽しく過ごしていることがわかり安心した」と感想をいただきました。編集担当者にとって、直接感想をいただき嬉しく思います。

今回も楽しみにご覧いただければ幸いです。

(H・M)